恵那峡の渓谷美を造る大井ダム100周年

電力王、福澤桃介が作った本格的な発電用のダム

美しい自然の景色を堪能できる恵那峡が、令和6年12月で「完成」100周年を迎えるって、みんな知ってた？

1924年12月に、電力王といわれる福澤桃介（ふくざわもも すけ）の手によって作られたのが、大井ダム。日本初の本格的な発電用のダムとして建設され、ダムによって生み出されたダム湖が、現在の恵那峡だよ。

ダムがない頃の恵那峡は、荒々しい岩に急流がしぶきを上げてぶつかり、小舟でスリル満点な川下りが楽しめたんだって！ ダムの完成で、今の恵那峡の景色が「完成」したんだナ。

それからながーい間、春には桜、秋には紅葉など、静かな水面に自然の恵みを映し出し、市民や訪れる観光客を楽しませてきたんだナ。これも先人たちが、一生懸命手入れしてきてくれたおかげだね。現在は発電ダムにちなんで「光るさいせん箱」や「光るハートのベンチ」、「光る絵馬」が設置されているよ。

▲春はサクラがきれいだナ

大井ダム完成100周年を記念して、来年度までにたくさんのイベントが計画されているみたい。どんなイベントが開催されるか楽しみだね。みんなで100周年をお祝いするんだナ。

▲ENAKYOの「Y」の文字を作ったよ

問 観光交流課（内線388）

◀市観光協会ウェブサイト

物知り先生のふるさと情報（三好学博士顕彰記）

「孤高の植物学者」第二話 青雲の志

三宅勝義さん（東野）

三好学は、美濃国岩村藩の江戸屋敷で生まれました。父は三好友衛（とものえ）で母はとよといいました。父は岩村藩主の御側衆（おそば）で、一三〇石取りの家臣でしたが、生活は楽ではなかったようです。

岩村藩出身の佐藤一斎が亡くなったのは、三好学が生まれる二年前なので、三好学と佐藤一斎は同時期に生きていません。しかし、佐藤一斎は当時、幕府直属の学問所である昌平坂学問所の会頭（校長）を務めた人物です。岩村藩の家臣は、この高名な先生が、我が藩に関わりがあることに大きな誇りを感じていました。特に、殿様の御側衆を務めた三好友衛はその気持ちを人一倍強く持っていました。父の気持ちが、子に影響しないはずはありません。

三好学が生まれた大名小路（現在の東京駅周辺）から昌平坂学問所（現在の湯島聖堂）までは、さほど遠くありません。籠や馬に乗れば、子どもでも日帰りで往復できる程の距離でした。

このような経緯や状況を考えると、こんな場面もあったかもしれません。

（建物の中からは、論語を素読する声が聞こえる）三好父子は、昌平坂学問所の門の前に立っている。「将来お前もここで勉学し、ひとかどの人物になるよう頑張れ！」と父に励まされた学は「必ず、一斎先生を超える儒学者になってみせる」と青雲の志を立てる…。

5、6歳の少年にとって、将来の指針を与えてくれるには、十分すぎるほどの環境でした。

「らんまん」の主人公のモデルである牧野富太郎はというと、土佐（高知県）の田舎町、佐川というところの造り酒屋の息子として生まれました。裕福な商家で、跡取りとして不自由なく育てられ、将来は酒屋の主人になることが約束されていました。

この幼少期の環境が二人の性格の違いになってきます。

▲現在の湯島聖堂

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsで未来が変わる Vol.14

SDGsをもっと身近に感じてもらうため、1月に発足した「市SDGs推進協議会」加入団体の取り組みを紹介します。

問 SDGs推進室（内線421）

SDGs 未来都市 恵那市

恵那市環境対策協議会

企業や団体、個人合わせて約140の会員が、環境基本法の基本理念に基づき、相互の連携を図りながら環境保全に関する事業を行っています。

これまでのSDGsの取り組み

2022年12月 清掃活動、市SDGs推進協議会に参加

約90人が阿木川ダム湖周辺で環境美化活動を行いました。また、市SDGs推進協議会に参加しました。

清掃活動の様子▶

2023年1月 講演会を開催

石原良純さんを招いた市SDGs講演会を開催し、市民ら600人が参加。市内企業や恵那農業高校の生徒などで、パネルディスカッションも行いました。

講演会の様子▶

2023年3月 機関紙を発行

本協議会機関紙「青と緑と太陽」を発行。協議会の活動報告と、市SDGs推進協議会の加入を呼びかけました。

関連するSDGsの目標

「ゼロカーボンシティえな」の実現に向けて、積極的に活動を進めます。

恵那 くらしビジネスサポートセンターだより
Ena City Life Business Support Center

『SOZO Trial space ENA』

ビジサポ2階のSOZO Trial space ENAは、ビジネスや移住の拠点、駅前の便利なレンタルオフィス、コワーキングスペースです。セミナールームやテレワーク、起業準備の場として、活用ください。

利用できるのは…

□対象 18歳以上の個人（高校生は除く）、事業者

□時間 月曜日から土曜日の午前9時～午後5時（祝日、年末年始は除く）

共同利用のコワーキングスペース

料金 □6時間まで500円

□6時間以上は1時間ごとに100円加算（上限1,000円）

□1カ月使い放題プランは月額2,000円

申し込み 不要

※空き状況は、ウェブサイトで確認ください

貸し切り利用のレンタルオフィス

料金 □1時間500円、6時間以上3,000円

□連続5日間まで利用可（上限6,000円）

申し込み 恵那くらしビジネスサポートセンターに、電子メールか電話で申し込みください

問 恵那くらしビジネスサポートセンター 恵那市大井町206-5 TEL 26-2266 ✉info@enalifebizsupport.jp

営業日 月～土曜日（午前9時～午後5時） 定休日 日曜日、祝日、年末年始